



独立行政法人
国立病院機構
National Hospital Organization



MEDICAL URESHINO CENTER

うれしの

2013.9

第36号

【発行所】
嬉野医療センター
佐賀県嬉野市嬉野町
大字下宿内2436番地



「シーボルトの湯：嬉野温泉観光協会」

患者さんの権利

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1 安全で、かつ平等な最善の医療を受ける権利 | 5 常に人としての尊厳を守られる権利 |
| 2 疾患の治療等に必要の情報を得、また教育を受ける権利 | 6 医療上の苦情を申し立てる権利 |
| 3 治療法を自由に選択し、決定する権利 | 7 継続して一貫した医療を受ける権利 |
| 4 プライバシーが守られる権利 | 8 生活の質（QOL）や生活背景に配慮された医療を受ける権利 |

CONTENTS

- | | |
|---|----------------------------|
| ② TOSHIBA製 320列ADCT AquilionONE vision editionの紹介 | ⑥ がん患者と家族の会 ～お茶々サロン～始めました♪ |
| ③ 放射線治療装置 varian社 Clinac iXの紹介 | ⑦ 地域医療連携だより 腎臓内科・耳鼻咽喉科 |
| ④ 平成26年度 九州ブロック看護職員就職説明会に参加して | ⑧ オープンキャンパスを開催しました |
| ⑤ 新病院建設だより・・・シリーズ No.1 | ⑩ 外来診療担当医表／編集後記 |



TOSHIBA製 320列ADCT

主任診療放射線技師 岩槻篤則

AquilionONE vision editionの紹介



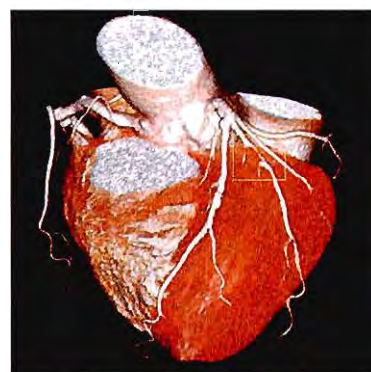
東芝製：Aquilion ONE vision

2013年5月から、東芝製の最新式CTであるAquilion ONE vision editionが導入されました。このCTは、従来に比べ一回で撮影できる範囲が広がった為、ベッドの移動回数が減り、撮影する時間も短くなったので、体動のある患者さん負担が軽減されました。また、最大の特徴であるVolume Scanではベッド移動なしで16cmの範囲が撮影できます。例えば被写体が小さく、時には体動が問題

になる小児検査にも有効です。レントゲンなどの一般撮影に近いイメージで、呼吸の落ち着いたタイミングに瞬でCT撮影を行います。また、頭の撮影では、一度で撮影が可能な場合もあります。従来のベッドが移動する撮影は、撮りこぼしを防ぐ為に撮影範囲を少し広めにしていましたが、Volume Scanではこれを回避できるので、被ばくも少なくなります。他にも多彩なスキャン方式があり、連続回転で血管動態などを観察する場合や広範囲を撮影する時など、従来と比較して格段に良くなっています。また、最新の技術であるAIDR 3D（Adaptive Iterative Dose Reduction 3D）が搭載されたことで、低被ばくでも高画質を得ることが可能です。

次に心臓CTについて紹介します。64列CTで普及した心臓CT撮影ですが、被ばく線量は胸部CTに比べて約3～5倍と多く、高心拍、不整脈の場合には撮影困難な場合や、広範囲撮影時には撮影時間の延長、造影剤量の増加が問題でした。しかし新しいCTでは、被ばく線量は1/4に低減され、Volume Scanによって従来の問題点が大幅に改善されています。ただし、心臓CTは息止めが出来ること、動かないことが前提となりますので、ご注意ください。

今回、新しいCTが導入されたことにより様々な撮影が出来るようになりました。搭載されている多くの機能を有効に活用し性能を引き出すことで、臨床に活かすべく放射線科一同努力していきますので、よろしくお願い致します。



冠動脈 造影撮影 3D 画像



放射線治療装置

撮影透視主任 堀上英昭

varian社 Clinac iXの紹介

当院の放射線治療装置が更新されました。現在、日本のがん患者数は増加しており放射線治療のニーズも高くなっています。今回導入されたvarian社のClinac iXは、高い治療性能、信頼性を提供できる装置です。体幹部定位放射線治療及び強度変調放射線治療（IMRT）はもちろんのこと、画像誘導放射線治療（IGRT）の最新技術まで、様々な放射線治療に対応しています。

小さな腫瘍にたいしては様々な方向からX線を照射し、一回の線量を大きくして短期間で治療を終える定位放射線治療が可能となりました。サイズの小さい肺がんなどに用いられ、従来の放射線治療よりも高い効果を発揮します。

放射線治療では、放射線を正確に腫瘍へ照射することが非常に重要です。しかし肝心の腫瘍は体内にあり、外部からの目視では確認することができません。IGRTとは照射の直前にX線撮影やCT撮影を行うことで画像取得し、骨や軟部組織、マーカー等の位置から照射が正しく行えるかを確認し、照射位置のずれ量を求めて寝台位置の修正を行う高精度な治療です。皮膚マークだけに頼らない正確な治療を行うことができます。

IMRTとは、最先端の照射法で、腫瘍の形状に合わせた線量分布を形成して、正常組織の被ばく線量をより低減できる放射線治療のテクニックです。腫瘍のみに放射線を集中して照射することで、正常組織副作用を減少させながら、治療効果を高める照射技術です。IMRTが有用ながんには、前立腺がん、頭頸部がん、脳腫瘍などがありますが、それ以外のがんにも適応が広がっています。すぐにはIMRTを開始することはできませんが、様々な検証などを行ったのちに実施していく予定です。

このように、様々な放射線治療が可能となっています。4月から放射線治療医が常勤となり、ソフト的にもハード的にも充実してきています。5月から治療開始していますが、すでに30人ほどの治療を行っています。なにか疑問があれば、いつでも放射線治療のスタッフにお尋ねください。放射線治療患者のご紹介をよろしくお願いします。



varian 社製：Clinac iX



平成26年度 九州ブロック看護職員就職説明会に参加して

教育研修部 教育担当師長 富永文子

平成26年度九州ブロック看護職員就職説明会が、5月11日（土）の大分県、熊本県を皮切りに九州8県において開催されました。当院も沖縄を除く7県の就職説明会に参加しました。今年はユニフォームを一新し、お揃いのポロシャツを着用し気合を入れて臨みました。

まず、九州内の看護学生には『嬉野』という土地の知名度が低く、いかに嬉野医療センターをアピールするかが重要であるため、プレゼンテーションは勿論のこと、視覚的にもポスターやのぼりを最大限に活用しました。次に、ブースでは、当院の役割や機能、医療・看護、卒後教育に関して説明を行いました。看護師の生の声を聞いた学生の中には「プラス1の看護」に共感したり、当院での就職後の看護師像をイメージしながら質問する学生もいました。7県終了し、当院のブースには合計259名の看護学生が来場しました。後は、一人でも多くの看護学生が当院の医療・看護に関心を持ち、就職に繋がっていくことを願っています。

事務部、看護部をはじめご協力頂きました皆様、本当にありがとうございました。



看護部で公募し、
一番人気の高かった
「へりぼーとん」の
ポロシャツ



新病院建設だより

シリーズ No.1

当広報誌“うれしの”に、「新病院建設だより」の連載記事を掲載していくこととなりました。今回の号から、新病院完成までの連載シリーズとなります。

平成30年3月完成、4月開院を目指していますので、それまで19回の連載となります。

建物本体工事が始まりますと、「新病院工事だより：工事進捗状況」の掲載を考えています。

さて、第1回目の内容ですが、いままでの経緯、今後のスケジュールについて記したいと思います。

今までの経緯

平成23年7月	嬉野市長より嬉野医療センター新幹線嬉野温泉駅前への移転要望書提出
平成24年4月	嬉野市新幹線課との新病院移転建設推進に向けての定例会議開始（月1回）
平成25年1月	建設推進室、建設委員会立ち上げ、新病院基本方針作成
平成25年2月	機構本部へ新病院建設基本プラン提出
平成25年3月	嬉野市 農政局へ農地転用協議申請
平成25年4月	新病院建設整備推進室開設
平成25年5月	嬉野市長、機構本部理事長、院長による新病院移転協定締結
平成25年8月	嬉野市 農政局農地転用協議承認

今後のスケジュール

平成25年9月	機構本部ヒアリング、嬉野医療センター建替整備計画承認（予定）
平成25年10月	基本設計委託準備、嬉野市土地区画整理事業認可
平成26年3月～6月	設計入札準備
平成26年7月～12月	設計業者決定、基本設計
平成27年1月～11月	実施設計
平成27年12月～28年1月	本体工事入札準備、本体工事入札
平成28年2月	// 工事開始
平成30年1月	// 工事完了
平成30年2月～3月	引越し、移転
平成30年4月	新病院開院

国立病院機構病院の標準スケジュールでは、本体建物建築期間は、約2年間です。ということは、平成30年4月の開院のためには、平成28年の2月～3月中には、工事がスタートする必要があります。このスケジュールに沿って、10年後、20年の将来を見据えて、諸々のビッグデータに基づいた基本設計、実施設計、運営方針、経営方針を着々と進めていく必要があります。スケジュール管理に支障を来すことのないように、整備推進室、建設委員会、部門別委員会、全職員一丸となり、来院される“ひとり一人”の心が満たされる新病院づくりを目指していきたいと思っています。



新病院建設整備推進室スタッフ一同



がん患者と家族の会



～お茶々サロン～始めました♪



心理療法士 大東美穂子

2012年11月30日、嬉野市では初のがんの患者サロン、お茶々サロンの第一回目が嬉野医療センターにて開催されました。患者サロンとは、患者さんやそのご家族など同じ立場の人が、がんのことを気軽に本音で語り合う交流の場の事です。

がんという病気になり、様々な悩みを誰かに聴いてほしいのに、何だか言い辛い、知られたくない…。治療中も、困っていることや悩みはあるのに、大部屋で他の患者さんに聴かれることを気にして色々話せない…。そのような複雑な思いを抱えられた方は少なくないかと思えます。同じ病気になった患者さん同士にしか分からない思いや悩みなどを、守られた空間で自由にお話しして頂ければと思います。

昨年度の患者サロンは2回開催され、参加された方々からは、「色々な話が聴けてよかった」、「悩んでいる事は同じだと思った」、「楽しかった」などの感想を頂いています。

今年度は、奇数月の第3金曜日の14:00～16:00、計6回を予定しています。参加費は無料で、場所は、臨床研究棟の奥「中ホール2」で開催しています。会

の内容は、前半に当院の各専門職によるわかりやすい勉強会（栄養士、薬剤師、医療ソーシャルワーカーなど）、後半は茶話会となっています。参加の対象の方は、がんの患者さんとそのご家族で、がんの部位は限定していません。参加希望の方は事前に、心理療法士の大東までお電話をお願い致します。入院中の方は、病棟の看護師までご相談下さい。開催前には、病棟や外来の掲示板にて、案内のポスターを貼っておりますのでご覧下さい。

初めて参加されるときは緊張されるかと思いますが、スタッフもサポートさせていただきますので、是非お気軽に足をお運び下さい。初参加の方も大歓迎です！皆様とお会いできるのを楽しみにしています。

お問い合わせ

お茶々サロン事務局：心理療法士の大東まで。

代表：0954-43-1120



お茶々サロンが行われている、中ホール2



お茶々サロンのサポートスタッフ

地域医療連携だより



腎臓内科 力武修一

腎臓内科の現況

当院では検尿異常などの精査から腎炎の治療、透析を含めた血液浄化療法などを行っています。

スタッフは、平成24年10月から前任の中沢将之に代わり力武修一が赴任し、平成25年4月から眞松麻衣に代わり斧沢幸司と野中康徳が赴任しています。計3人体制となり、診療体制も充実してきています。

取り扱っている疾患

原発性糸球体疾患（急性糸球体腎炎、IgA腎症などの慢性糸球体腎炎、ANCA関連腎炎に代表される急速進行性糸球体腎炎）、尿細管・間質性腎疾患、全身性疾患による腎疾患、ネフローゼ症候群、腎不全（急性・慢性）などの腫瘍を除くあらゆる腎疾患を担当しています。透析をはじめとして血液浄化療法の適応されるすべての疾患を、他の診療科と協力しながら担当しています。

診療内容の推移（年間総数）

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
新入院数	85	78	120	162	180
外来患者数(日)	7.3	6.8	7.1	8.3	8.8
紹介患者数	82	86	119	119	109
腎生検数	1	5	2	11	8
透析件数	489	864	787	1148	1446

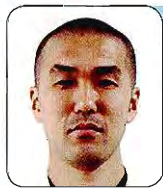
外来診療は月、火、木、金の週4日行っています。

当医療圏では腎臓内科医の常勤する医療機関が少なく、検診二次精査や慢性腎炎、ネフローゼ症候群、保存期腎不全などについて当科が果たすべき役割は大きいと考えています。慢性腎臓病（CKD）の概念も浸透し、ご紹介いただきます患者さんの増加もあり、新入院数や腎生検の件数も増加傾向にあります。

また、平成19年8月に開設した透析療法室ですが、年々患者数は増加しており、平成20年度と24年度の比較では約3倍となっています。透析導入のみならず、感染症や心血管病など合併症での入院が増加しています。

おわりに

若手3人の診療体制ではありますが、日々精進しながら診療に励んでいます。検診異常から保存期腎不全含め気軽に御紹介いただければと思います。今後ともよろしくお願い致します。



耳鼻咽喉科 桂 資泰

平成25年4月から耳鼻咽喉科に赴任いたしました、平成11年長崎大学卒の桂 資泰と申します。10年ほど前に本院勤務したことがありますので2回目の嬉野医療センター勤務となります。

耳鼻咽喉科は中耳炎、副鼻腔炎というイメージが強いかと思いますが、実は鎖骨よりも頭側で眼球と脳組織以外はすべて耳鼻咽喉科の診療範囲となり広い範囲を受け持っています。こういったことから最近、耳鼻咽喉科・頭頸部外科と標榜する病院も全国的に増えています。私の得意とする分野は、まさにこの頭頸部外科という分野で、具体的には口腔癌、咽頭癌など悪性腫瘍が主なものになります。頭頸部の悪性腫瘍は一般外科とくらべると症例数が少ないこともあり、全国でも有数の症例数を誇る国立がんセンター東病院で2年間研修してまいりました。がんセンターと全く同じ医療を提供できるわけではありませんが、頭頸部外科に関しては質の高い治療を提供できていると考えていますので口腔癌、咽頭癌を疑う症例がありましたらご紹介ください。

もちろん一般耳鼻咽喉科疾患につきましてもご紹介いただければ全力で対応させていただきます。よろしくお願いいたします。

オープンキャンパスを
開催しました

嬉野医療センター附属看護学校 阿部容子

平成25年8月10日土曜日、嬉野医療センター附属看護学校のオープンキャンパスを開催しました。当日は気温35℃を超える猛暑の中、94名の高校生や保護者の方が参加してくださいました。

今年は例年と趣向を変え、開催時間を土曜日の午後からとし、また、自由に学校内を見学できるように企画していきました。

また、在校生にも協力してもらい、看護の魅力や嬉野医療センター附属看護学校について伝えていきました。

例えば、看護学校の講義や演習を体験してもらいたいと思い、公開講座を2講座開催しました。ひとつは「血圧を測ってみよう」と題し、実際に血圧計に触れ参加者同士で測定をし



てみました。もうひとつは「ボディメカニクスってなに？」と題し、実習室でどのようにすると小さな力でも楽に動かすことができるのか、体験してもらいました。どちらの講座も盛況で、参加した高校生や保護者は「うわぁ、本当」「さっきと全然違う」「音が聞こえた！」など、初めての経験に驚きつつも、新たな発見を楽しんでいる様子がうかがえました。

また、看護学校の講義等で使用しているモデルを用いた体験コーナーも、盛況でした。

妊婦体験や高齢者体験では、体験モデルを着用し靴下を履いたり、食事の場面を体験してみました。普段何気なく行っている動作が、からだの変化により簡単にはできないことを体験し、母親への感謝を言葉にする高校生もいました。赤ちゃんモデルを抱っこし哺乳する体験や、フィジカルアセスメントモデルを聴診する体験・教材の見学は、日頃なかなか体験できないコーナーでもあり、参加者は興味津々の様子でした。

オープンキャンパスの終盤には在校生との交流の場を設け、この日一番の盛り上がりを見せました。在校生はもちろん、参加した高校生たちも笑顔で話しをしており、お互いにとって貴重な交流の時間となったのではないかと思います。

2時間30分という限られた時間のなかでしたが、オープンキャンパスを通して看護の魅力や嬉野医療センター附属看護学校について知っていただけたのではないかと思います。また、在校生たちのちからや成長を感じた時間にもなりました。

今回は、10月26日土曜日、学校祭の日に行います。詳細はホームページをご覧ください。



区 分	月	火	水	木	金
呼吸器内科	午前 副島 佳文・佐々木英祐	中野 浩文	副島 佳文・由良 博一	佐々木 英祐	中野 浩文・由良 博一
消化器内科	午前 北山 素 白石 良介 (消化管) 磯田 広史 (肝臓)	綱田 誠司 (消化管) 有尾 啓介 (肝臓) 森崎 智仁 (消化管)	大石 敬之 (消化管) 北山 素 森崎 智仁 (肝臓)	綱田 誠司 (消化管) 白石 良介 (消化管) 有尾 啓介 (肝臓)	大石 敬之 (消化管) 磯田 広史 (肝臓)
循環器内科	午前 逸見 朋子 山元 実美	室屋 隆浩 三輪 高士	山元 実美	室屋隆浩 (ペースメーカー) 山元 実美 (第1・3) 三輪 高士 (第2・4)	三輪 高士
心臓血管外科	午前	力武 一久・池田 和幸 田中 史子	力武 一久	田中 史子	力武 一久・池田 和幸
糖尿・膠原内科	午前		安西 慶三 (糖尿病のみ) (第2,3,4,5週)	田中 史子	
リウマチ科	午前		荒武 弘一朗	荒武 弘一朗	田中 史子
神経内科	午前 長岡 篤志		溝田 貴光		溝田 貴光
腎臓内科	午前 野中 康徳 (整形で診察)	力武 修一 (整形で診察) 芹沢 幸司 (整形で診察)		力武 修一 (整形で診察) 芹沢 幸司 (整形で診察)	野中 康徳 (整形で診察)
血液内科	午前				安藤 寿彦
小児科	午前 小野 晋康 佐藤 忠司 小野 晋康 (診察 14時～16時)	西川 小百合 乳児検診 (完全予約制) (診察 14時～16時)	佐藤 忠司 循環器外来 第1・3水曜 (診察 13時～16時)	一ノ瀬 文男 小児腎臓外来 第2木曜 内分泌外来 第3木曜 久野 建夫 (第3木曜日) 小児アレルギー第4木曜 (診察 14時～16時)	古賀 大介 大串 崇彦
	午後				
外科	午前 岡 忠之 (呼吸器外科・乳腺外科)	近藤 正道 (呼吸器外科・乳腺外科)	荒木政人 (消化器外科)	柴崎 信一 (消化器外科) 佐藤綾子 (一般外科・乳腺外科)	郡家 聖史 (一般外科)
	午後 岡忠之・近藤正道 (乳腺外来) (診察 13時半～15時)				
整形外科	午前 川口 耕平・久芳 昭一 古畑 友基	小河 賢司・杉山健太郎 井上 拓馬	古市 格・川口 耕平 杉山健太郎	小河 賢司・久芳 昭一 古畑 友基	古市 格・井上 拓馬 古畑 友基
脳神経外科	午前 前田 善久	宮園 正之		宮園 正之	前田 善久
皮膚科	午前 東 江里夏 (新患) 大久保佑美 (再来)	大久保佑美 (新患) 東 江里夏 (再来)	東 江里夏 (新患) 大久保佑美 (再来)	大久保佑美 (新患) 東 江里夏 (再来)	東 江里夏 (新患) 大久保佑美 (再来)
泌尿器科	午前 谷口 啓輔 (再来) 林田 靖 (新患)	谷口 啓輔 (新患) 林田 靖 (再来) 計屋敏信 (第1,3,5火曜日)		谷口 啓輔 (新患) 林田 靖 (再来)	谷口 啓輔 (再来) 林田 靖 (新患)
	午後	予約外来		予約外来	
婦人科	午前 村上 直子	杉田 豊隆		一瀬 俊介	藤原恵美子
	午後 藤原恵美子 母乳外来 (13時半～15時半) (完全予約制)	一瀬 俊介 助産外来 (13時半～15時半) (完全予約制)	助産外来 (9時～15時半) (完全予約制)	杉田 豊隆 母乳外来 (13時半～15時半) (完全予約制)	村上 直子 助産外来 (13時半～15時半) (完全予約制)
眼科	午前 佐々木 満 (予約制) 高橋 峰光 (予約制)		佐々木 満 (予約制) 高橋 峰光 (予約制)	佐々木 満 (予約制) 高橋 峰光 (予約制)	佐々木 満 (予約制) 高橋 峰光 (予約制)
	午後				
耳鼻咽喉科	午前 桂 資泰 (再来) 前田耕太郎 (新患)	桂 資泰 (再来) 前田耕太郎 (再来)		桂 資泰 (再来) 前田耕太郎 (再来)	桂 資泰 (再来) 前田耕太郎 (新患)
	午後		桂 資泰・前田耕太郎 (診察 13:00～16:00) (予約制)		
放射線科	午前 福井健一郎・牧野 謙二 福田 雅敏・平川 浩一	福井健一郎・牧野 謙二 福田 雅敏・平川 浩一	福井健一郎・牧野 謙二 福田 雅敏・平川 浩一	福井健一郎・牧野 謙二 平野浩一・坂本美奈	福井健一郎・牧野 謙二 福田 雅敏・平川 浩一
	午後 福井健一郎・牧野 謙二 福田 雅敏・平川 浩一	福井健一郎・牧野 謙二 福田 雅敏・平川 浩一	福井健一郎・牧野 謙二 福田 雅敏・平川 浩一	福井健一郎・牧野 謙二 福田 雅敏・平川 浩一	福井健一郎・牧野 謙二 福田 雅敏・平川 浩一
麻酔科ペインクリニック	午前 香月 亮・石川亜佐子	香月 亮・石川亜佐子			香月 亮・石川亜佐子
救急科 (8:30～17:15)	藤原 紳祐・山住 和之	藤原 紳祐・山住 和之	藤原 紳祐・山住 和之	藤原 紳祐・山住 和之	藤原 紳祐・山住 和之

ご紹介いただく患者様につきましては可能な限り事前予約をおとりいただきますようお願い致します。
(当院の受付時間は午前8時30分～午前11時00分迄です。)

内科系	第2・第4木曜日はペースメーカー外来を行っています。 毎週水曜日の午後 (13時～14時) は禁煙外来 (保険診療外) を行っています。(予約受付 14時～16時) ★予約制 毎週月・金曜日の午後は一般外来を受け付けています。(受付 14時～16時)
小児科	毎週火曜日の午後は乳児健診 (完全予約制) ● 第1・3水曜日の午後は循環器外来 (受付 13時～16時) ★予約制 毎月第3木曜日の午後は内分泌外来 (受付 13時～16時まで) 毎月第4木曜日の午後は小児アレルギー外来 (受付 14時～17時まで) ★完全予約制 毎月第2木曜日の午後は小児腎臓外来 (受付時間 13時～16時) ★予約制
外科	毎週月曜日の午後は乳腺外来を行っております。(受付時間 12時半～13時半) ご紹介は整形外来宛でお願いします。
整形外科	救急患者については救急室にて対応しております。
泌尿器科	毎週火・木曜日の午後は、検査予約外来を行っています。
産婦人科	毎週月・木曜日の午後は母乳育児指導を受け付けています。(受付時間 13時30分～15時30分) 毎週水曜日の午後は完全予約のもと一般外来を行っています。
耳鼻科	毎月第1・第3木曜日の午前及び毎週水曜日の午後は、補聴器外来を行っています。
麻酔科	ご紹介は月曜日でお願いします。救急の場合はこの限りではありません。

2013.10.7

今回の表紙の写真は、嬉野温泉にありますシーボルトの湯です。

「古湯温泉」として長く親しまれてきた公衆浴場が、平成22年4月にシーボルトの湯として生まれ変わりました。

館内には、大浴場や貸切湯、市民ギャラリーなどがあり、嬉野市内外の方々の交流の場、憩いの場となっています。

みなさんも、ぜひ一度足を運んでみて下さい。